

令和元年度 石狩市教育委員会会議（1月定例会）会議録

令和2年1月28日（火）
第2委員会室

開会 10時30分

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
教育長 佐々木 隆 哉	○		
委員 門 馬 富士子	○		教育長職務代理
委員 松 尾 拓 也	○		
委員 山 本 由美子	○		
委員 穴 水 正	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	安 崎 克 仁
生涯学習部次長（教育指導担当）	佐 藤 辰 彦
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	松 永 実
学校教育課長	佐々木 宏 嘉
教育支援センター長	開 発 克 久
社会教育課長（兼公民館長）	伊 藤 英 司
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	相 原 真 一
浜益生涯学習課長	成 田 和 幸
学校給食センター長	近 藤 和 磨
生涯学習部参事（指導担当）	山 田 潮
総務企画課総務企画担当主査	扇 武 男
同上	古 屋 昇 一

○傍聴者なし

議事日程

日程第1 署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 報告事項

① 令和2年度全国学力・学習状況調査の実施について

日程第4 その他

日程第5 次回定例会の開催について

開会宣言

(佐々木教育長) ただ今から、令和元年度教育委員会会議1月定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名

(佐々木教育長) 日程第1 会議録署名委員の指名ですが、松尾委員にお願いします。

日程第2 教育長報告

(佐々木教育長) 日程第2 教育長報告を議題とします。1月定例会での報告につきましては、お配りしている資料をご覧くださいまして、報告に代えさせていただきたいと思います。なお、昨年12月11日に開催されました建設文教常任委員会での質疑の要旨もお配りしておりますのでそれも併せてご覧ください、ご質問等についても併せてお受けいたしたいと思いますがいかがでしょうか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、教育長報告について、了承ということによろしいでしょうか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、教育長報告について了承をいただきました。

日程第3 報告事項

(佐々木教育長) 次に、日程第3 報告事項を議題とします。

報告事項①「令和2年度全国学力・学習状況調査の実施について」

(佐々木教育長) 報告事項①「令和2年度全国学力・学習状況調査の実施について」、事務局から報告願います。

(山田指導担当参事) 別冊の資料をご覧ください。令和2年度の全国学力・学習状況調査については、令和2年4月16日(木)に実施する予定です。調査の目的については、三点あります。一点目は「義務教育の機会均等、水準維持のため」、二点目としては「児童生徒の教育指導の充実と学習状況の改善に役立てること」、三点目としては「検証改善サイクルを確立すること」以上三点を目的として行われるということです。調査対象ですが、小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒を対象としています。調査内容につきましては、小学校調査は国語及び算数とし、中学校調査は国語及び数学で、児童生徒、学校を対象に家庭での生活習慣や学習環境をアンケート形式で聞く質問紙調査を行います。本市においては、この調査について、小中学校すべての学校で参加を予定しています。続いて21頁をご覧ください。経年変化分析調査の実施に関する時間割モデルがありますが、経年変化分析調査について、同一の問題による経年比較を行います。全国レベルでの児童生徒の学力の状況を経年で把握分析し、国の教育施策の検証に役立てることを目的として、令和2年5月11日から6月30日の期間で実施するものです。以上令和2年度全国学力・学習状況調査の概要についての報告を終わります。

(佐々木教育長) ただ今、事務局から報告がありましたが、ご質問等はありません

んか。

(穴水委員) 経年変化分析調査の実施に関する時間割モデルの件ですが、小学校では実施可能な1時限で国語、算数どちらかということになっています。中学校も同様に国語、または、数学となっていますが、今のところどちらで実施するか検討はされていますか。

(山田指導担当参事) 文部科学省が直接抽出することになっており、教科についても同様です。また、これにつきましては、非公開で実施する旨、国から通知がありましたので回答は差し控えます。

(穴水委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他にご質問等はありませんか。

(松尾委員) 確認ですが、経年変化分析調査はいつ頃から行われているものなのですか。また、この調査の結果はどこかで見ることはできますか。

(山田指導担当参事) 一点目ですが、国は平成25年度、28年度と令和2年度の3回目の実施となります。結果につきましては、全国的な学力の推移を報告書の形で概要版が国から出される予定です。

(門馬委員) ただ今の報告書ですが、現実として学校現場で役立つものなのですか。

(山田指導担当参事) 調査問題及び結果につきましては、学校にも通知がされないと聞いています。あくまでも、全国的な傾向としての概要版が出されることとなります。

(門馬委員) 今回石狩市内の学校が対象校になるのは初めてですか。

(山田指導担当参事) これまでの過去の状況を調査いたしましたところ、抽出校はなく、今回が初めてです。

(門馬委員) わかりました。

(佐々木教育長) 全国的な傾向を見て、例えば、次の学習指導要領を見直す時に利用するものではないですか。

(山田指導担当参事) 文部科学省がその結果・内容を分析して、今後の学力・学習状況調査の問題作成に利用するのではないかと推測いたします。

(松尾委員) 全国学力・学習状況調査に付随して、経年変化分析調査が行われているものなのですね。

(山田指導担当参事) 同一問題ということで、今回を含めて3回行われ、その回答状況を鑑みて、全国学力・学習状況調査の問題作成に加味されるものと考えます。

(松尾委員) 同じ問題を定期的に行って、その傾向を押さえるための調査ということがわかりました。

(佐々木教育長) 他にご質問等はありませんか。

(山本委員) 経年変化分析調査は、これを行った児童生徒には結果等は知らされないということですね。

(山田指導担当参事) 学校にも結果の報告はございませんので、児童生徒にも結果は知らされないこととなります。

(門馬委員) ということは、対象となる児童生徒を提供するということになり、学校としては、手間と時間ばかりを取られる形となるということですか。

(山田指導担当参事) 21 頁に記載のとおり、対象小学校、中学校ともに1教科であれば1時限、小学校であれば45分、中学校であれば50分ということになります。

(門馬委員) 学校は、それほどの負担にはならないということがわかりました。

(松尾委員) この調査は、授業の後に時間を延長して行うというイメージですか。

(山田指導担当参事) 国語であれば、国語の時間で行います。

(松尾委員) 授業の中で実施するということは、時数やカリキュラムへの支障等はありませんか。

(山田指導担当参事) 抽出校については、改めて通知を行いますので、それに向けてのカリキュラム等の修正を行うこととなります。

(松尾委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他にご質問等はありませんか。

質問なし

(佐々木教育長) それでは、他に質問等がないようですので、報告事項①について、了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、報告事項①について了解しました。

日程第4 その他

(佐々木教育長) 次に、日程第4 その他を議題とします。その他について委員の皆さんから何かございませんか。

その他なし

(佐々木教育長) その他について事務局からありませんか。

(安崎生涯学習部長) ありません。

(佐々木教育長) それでは、以上で日程第4 その他を終了します。

日程第5 次回会議の開催日程

(佐々木教育長) 次に、日程第5 次回会議の開催日程を議題とします。次回については、2月12日(水)15時30分からの開催を予定しておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

閉会宣告

(佐々木教育長) 以上をもって、1月定例会の案件は全て終了いたしました。これもちまして、令和元年度教育委員会会議1月定例会を閉会します。

閉会 10時47分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 2 年 2 月 12 日

教育長 佐々木隆哉

署名委員 松尾 拓也